



いわて マナビィ マガジン

No. 221 (令和3年度第6号) 2021. 6. 25



★-----★
「学び」の再チャレンジのために！ ～高等学校卒業程度認定試験～
★-----★

国家試験である「高等学校卒業程度認定試験」が、本県では当センターを会場として、年2回実施されています。

第1回試験は、8月12日～13日に実施されますが、既に申し込みは締め切りとなっています。第2回試験は、11月6日～7日に開催されますが、申込用紙を含む「受験案内」は、7月20日（火）より県庁および県の各合同庁舎で配布が開始されます。受験するためには、受験案内の受領及び申込が必須となりますので、計画的に準備をお願いします。

☆☆☆ 生涯学習ミニ講座⑦ ☆☆☆

「高等学校卒業程度認定試験（高認）」とは？

かつての「大学入学資格検定（大検）」が前身であり、高等学校を卒業していない方等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した方と「同等以上の学力」があるかを認定する試験です。文部科学省が毎年実施しており、一般には高認（こうにん）と呼ばれています。

高等学校卒業程度認定試験に合格した場合は、公的に「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある」とみなされ、大学（短期大学を含む）・専門学校の入學試験の受験資格を得ることができます。

試験の合格者は、高等学校を卒業したこととはなりません。国勢調査などの国の区分では、高等学校卒業と同じ区分とされています。また、就職の際、地方自治体や民間企業の一部では高等学校卒業者と同等に扱われています。

※履歴書の資格欄（または学歴欄）へ記入する場合、文部科学省では、「平成〇〇年〇〇月 高等学校卒業程度認定試験合格」と記入するように推奨しています。

受験者の約半数は高等学校を中退した方ですので、「学び」の再チャレンジを進める制度となっています。試験はすべてマークシート方式で行われ、現在では、高等学校の全日制課程の在籍者にも受験資格が与えられるようになったことや、受験機会が年2回へと変更されたことなどにより、受験

者数が毎年増加する傾向となっています。

高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）について、詳しくはこちらへ

↓↓↓↓↓

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/

（文部科学省ホームページ）

★-----★

子どもの読書活動&地域学校協働活動の推進！

～読書ボランティア研修会～

★-----★

6月15日に「読書ボランティア研修会」を開催しました。

午前中は、「絵本が開く心の扉～すべての子どもに図書館を～」と題して盛岡大学非常勤講師・都内中高一貫校学校図書館司書の町田りん先生の講演が行われました。先生の少年院で絵本などの物語の読み聞かせを行っているご経験等から、本や読み聞かせのすばらしさ等について学びました。

コロナ禍の中、参加人数制限を行っての研修会となりましたが、講演の様子は、オンラインでの同時中継を行い、「まなびネットいわて」から希望者に映像を配信しました！

次に、講演内容のほんの一部を紹介します！

【物語はなぜ必要なのか！】

- ・人の声によって少年の五感に働きかけ、感情をゆさぶり、時には彼ら自身の物語を引き出す。
- ・人は、物語によって世界について考え、現実の可能性を探り、認識の領域を広げていく。
- ・少年たちが「自分の心」に向き合う時、物語の記憶が彼らを癒し、良い働きをしてくれる。

【心に届く絵本の模索】

～少年へのアンケート結果や寮での個別の読み聞かせの記録より～

①ユーモアとペース（感動）

「11ぴきのねこ」シリーズ、「100まんびきのねこ」

「すてきな三人ぐみ」

②詩

「聴く力」「生命は」「生きる」「空の絵本」

③懐かしさ+α

「スイミー」「ぐりとぐら」「スーホの白い馬」
「チムとゆうかなせんちょうさん」「時計作りのジョニー」

④ 働く

「いっぼんの鉛筆のむこうに」「おかあさんのいす」

⑤ アート

「あかいふうせん」「はくぶつかんのよる」「1はゴリラ」

⑥ くらしと悲しみ

「おとうさんのちず」「うみべのまちで」「まちんと」
「ひさの星」「ノックノック」

⑦ 昔話

「三びきのやぎのがらがらどん」「パンのかけらとちいさなあくま」
「ももたろう」「スーホの白い馬（※再掲）」「まのいいりょうし」
「ききみみずきん」「うたうふくろ」「ラプンツェル」

⑧ 科学・歴史・命

「こいぬがうまれるよ」「つちはんみょう」「せいめいのれきし」
「ふくろうかあさん」「カランポーのオオカミ王」
「デイビッド・マリンの驚異の大宇宙」

⑨ 哲学

「みえるとかみえないとか」「フレデリック」「アリになった数学者」

みなさんの知っている絵本もいくつかあったことと思います。小学校の
国語の教科書に載っている作品もありますね！

午後は選択研修が行われ、各先生方の実技・演習を含めた専門的な指導
により、充実した研修となりました。

（「1つの研修だけでなく、全部の研修を受けたいのに・・・」との声も多
数ありました。次回開催や各教育事務所主管の研修会にもご期待くださ
い！）

「おはなし会を開こう～幼児向け～」

講師 JPIC 読書アドバイザー 平田 純子 氏

「おはなし会を開こう～幼児向け～」

講師 絵本コーディネーター 堀 玲子 氏

「本の魅力を伝える方法教えます～ビブリオバトル・POPづくり～」

講師 岩手県立図書館 似内千鶴子 氏

「めざせ朗読スキルアップ」

講師 KOTOS E音読教室 佐藤くみこ 氏

☆☆☆ 生涯学習ミニ講座⑧ ☆☆☆

「ビブリオバトル」とは？

～人を通して本を知る、本を通して人を知る～

2007年より始まった、簡単な4つの公式ルールで本を紹介する書評ゲームです。初めてでも誰でも行うことができ、本を通してのコミュニケーションの場をつくること、「楽しいこと」がとても大切です。原稿を事前に用意する必要はなく、課題図書はビブリオバトルには向いていません。

(公式ルール)

- 1 発表参加者が、読んでおもしろいと思った本を持って集まる。
- 2 順番に、一人5分間で本を紹介する。
- 3 それぞれの発表の後に、参加者全員で、発表に関するディスカッションを2～3分で行う。(批判的なものではなく、追加説明を求めたりするもの。)
- 4 すべての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を、参加者全員1票で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

「ビブリオバトル普及委員会」では、5分ではなく、3分間で本の紹介を行うものを子供用のビブリオバトル(ミニ・ビブリオバトル)として認めることとしているようです。

↓↓↓↓↓

<http://www.bibliobattle.jp/>

(知的書評合戦ビブリオバトル公式ウェブサイト)

【生涯学習電話相談「マナビィコール」】

今回紹介させていただいた研修内容についてのお問い合わせ等は下記までお気軽にどうぞ！

当所で行っている「学び」全般の相談ダイヤルです。

↓↓↓↓↓

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/soudanshien/manabiikoru.html>

★-----★
各種研修会の開催要項を掲載中です！
★-----★

研修会の開催要項は、随時掲載中です。また、本年度開催予定の全ての研修会の要項（案）を掲載していますのでぜひご覧ください。

【研修会等実施予定】

- 7月 2日（金） 「人づくり・地域づくり関係職員等研修（中部）」
6日（火）～「放課後児童支援員認定研修（センター会場1班）」
27日（火） 「人づくり・地域づくり関係職員等研修（宮古）」
8月 4日（水） 「コミュニケーションスキルアップ研修講座」
6日（金） 「学校と地域の連携・協働研修会」
12日（木）～「第1回高校卒業程度認定試験」
20日（金） 「人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（盛岡）」
25日（水） 「子育て支援活動交流研修会」
31日（火）～「放課後児童支援員認定研修（センター会場2班）」

（※申し訳ありませんが、既に申し込みを締め切っているものもあります。）

開催要項・実施報告書は、当センターのHP「まなびネットいわて」をご覧ください。（中段の「新着情報」または上段の「事業計画・研修講座要項」内に掲載中）

↓↓↓↓↓

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

▶ご意見・ご感想、登録・登録解除等は下記アドレスまで

⇒ E-mail ; mag-manabee@pref.iwate.jp

▶生涯学習・社会教育関連情報は当センターHPから

⇒ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

▶Facebook・Twitterでも各種情報配信中

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

発行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口2-82-13）

編集：菊池 一洋